

活動状況報告書（9月分）

学生留学コース 若槻 のどか

8月24日にフィンランドに到着後、26日から大学のオリエンテーションウィークが始まり、様々なイベントが開催されています。チューターのサポートを受けながら、生活基盤を整えることができています。また、ヘルシンキの気温は15度から20度の日が多く、日本の夏の暑さから一転して、涼しく過ごしています。

オリエンテーションウィークの期間を使って、ヘルシンキ中央図書館 Oodi にも行きましたが、既に様々なところで評価されている通り、素晴らしい場所でした。子どもたちが本を読む場所としても、学生が勉強をする場所としても良いですが、そのほかにも料理できるスペースがあったり、レコーディングスペースをかりることができたりと、サービスが充実していました。今後大学の勉強をする場所として利用したいと思います。

大学での学びについて、Animal law という授業では、動物の保護について、動物は法的権利を持っているか、持つことができるのか等の論点から学んでいます。各国から来た留学生が履修しており、他国の動物に関する法律の状況も知ることができる貴重な機会になっています。授業の最後にはディベートが予定されており、最後に提出する essay の内容とともに成績が評価されます。Essay のテーマは各自で決めることになっており、先日 Abstract（大まかな内容の案）を提出して先生からフィードバックをいただきました。それをもとに最終的に提出する essay の内容を詰めていくという流れになっています。私は、日本に多い Animal カフェについて、それが果たしている役割と、そこから生じている問題、問題に対する解決策について書く予定です。

また、Principles of International law の授業は週3回あり、10月初めに成績評価の対象の試験が予定されています。英語での試験は初めてなので緊張しますが、試験の結果のみで成績が決まるので、しっかりと準備をして臨みたいと思います。

自身のプロジェクトについては、インタビューするための基礎的な情報を収集すること、インタビューを実施する対象を検討することの二つを直近の活動として行っています。大学の授業に慣れることでいっぱいではなかなか時間がさけていないのが現状ですが、計画を立てて着実に実施していきたいと思います。また、授業を通して、英語でのコミュニケーションに慣れて、インタビューではより深い内容まで踏み込んだ質問をできるようになりたいと思います。

日々の生活では、英語に慣れるという意味でも有効だと思い、英語でフィンランドや欧州のニュースを読んでいます。フィンランドやEUのニュースに触れ、日本にいる時とは異なる視点で世界を見るきっかけになりました。特に安全保障をめぐるニュースは、フィンランドに来て自分事として捉えるようになりました。今後も意識して新しい情報を取り入れ、世界情勢を注視していきたいです。

↓オンラインオリエンテーションに参加する筆者



↓ヘルシンキ大聖堂



↓授業を受ける筆者



↓授業を受けている教室の風景

